

5 環境管理の推進

環境マネジメントシステム(EMS)の的確な運用

グループ会社のEMSは、構築レベルを6段階に分類した九州電力のグループ会社独自の統一的な基準（「九電グループにおけるEMS構築体制基準」）に基づき、グループ会社ごとに構築しています。グループ環境経営推進部会の加入会社は、第1段階以上のEMSを構築するなど、各社の事業特性に応じた環境活動に取り組んでいます。

なお、2011年度は、(株)九建が第6段階へレベルアップし、九州高圧コンクリート工業(株)及び西九州共同港湾(株)がエコアクション21の認証を取得しました。また、2社が第3段階へレベルアップし、3社が第2段階へレベルアップしました(下表)。

詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報(P2参照) 九電グループにおけるEMS構築体制基準

EMS構築状況(2012年3月末現在)

EMS構築レベル		会社数	会社名		
第6段階	ISO14001認証取得 (全事業所で認証を取得している会社)	6	西日本環境エネルギー(株)	北九州エル・エヌ・ジー(株)	(株)キューヘン
			九州環境マネジメント(株)	西日本技術開発(株)	(株)九建
第5段階	ISO14001認証取得 (一部の事業所で認証を取得している会社)	6	(株)九電工(本社)	誠新産業(株)(本社、北九州グループ)	ニシム電子工業(株)(本社、佐賀工場、保守サポートセンター)
			九電産業(株)(環境部)	(株)福岡グリーンエナジー(東部工場)	九電テクノシステムズ(株)(本店西エリア・福岡工場)
第4段階	ISO14001準拠	5	大分エル・エヌ・ジー(株)	戸畑共同火力(株)	西日本空輸(株)
			大分共同火力(株)	西日本プラント工業(株)(本店)	—
第3段階	エコアクション21(EA21)認証取得	7	(株)ジェイ・リライツ	光洋電器工業(株)	西九州共同港湾(株)
			九州林産(株)	(株)キューデンインフォコム	—
			西日本電気鉄工(株)	九州高圧コンクリート工業(株)	—
	ISO簡易システム	3	九電ビジネスソリューションズ(株)	九州通信ネットワーク(株)	西技工業(株)(須恵事業所、宮崎営業所、日向営業所)
第2段階	文書による体制、目標管理、 遵守評価の実施	18	九州冷熱(株)	(株)キューデン・グッドライフ	(株)キューデン・グッドライフ熊本
			(株)電気ビル	(株)キューデン・グッドライフ福岡浄水	西技測量設計(株)
			(株)キューデン・グッドライフ鹿児島	(株)キューデン・グッドライフ東福岡	九州住宅保証(株)
			(株)九電シェアードビジネス	(株)九電ビジネスフロント	(株)プラスワイヤー
			(株)九州字幕放送共同制作センター	(株)オーフパートナーズ	九電不動産(株)
			(株)福岡エネルギーサービス	みやざきバイオマスリサイクル(株)	(株)九電ホームセキュリティ

(注) 第1段階(環境管理体制の整備、環境方針の策定、環境目標の策定): 5社。 第1段階のEMSを構築中: 3社(2010年度及び2011年度に新規加入した会社)。

エコアクション21の認証を取得しました。

九州高圧コンクリート工業(株)

九州高圧コンクリート工業(株)は、2008年からEMSに基づき環境活動を行ってまいりましたが、環境問題に対する社会情勢の高まりを受け、2010年12月に環境方針・環境マニュアルを改定し、2011年1月からエコアクション21を導入しました。試行期間を経て審査を受けた結果、環境に配慮した会社として環境負荷低減への取組みが認められ、2011年11月にエコアクション21の認証を取得する事ができました。今後も、持続可能な社会の形成に寄与するとともに、環境経営に積極的に取り組み、地球にやさしい企業を目指していきます。



西九州共同港湾(株)

西九州共同港湾(株)は、九州電力松浦発電所及び電源開発松浦火力発電所の港湾・揚運炭設備の管理運用を一元的かつ効率的に行うことを目的として設立され、共有設備の管理運用、港湾運送業、船舶代理店業、曳船業、内航海運業、通関業などの事業を行っています。2003年度から九電グループにおけるEMS構築体制基準に基づきEMSの運用に取り組み、2011年度エコアクション21の認証を取得しました。今後も炭塵含有水漏洩や油漏洩などの環境事故の未然防止をはじめとして、4R(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ)、グリーン購入の推進、地域の清掃活動等への積極的参加を継続し、二酸化炭素、一般廃棄物及び排水の削減に努め、循環型社会の形成に貢献していきます。



環境に関する法規制遵守の状況

主要な環境関連の法令等に基づく改善勧告・命令や罰則について、2011年度はグループ各社において適用を受けた事例はありません。今後も引き続き、EMSの適切な運用に努めるなど、法令遵守はもとより、企業倫理にのっとり公正で透明性の高い事業活動を推進していくとともに、地元自治体と締結している環境保全協定等についても厳正に遵守していきます。

用語集を
ご覧ください

- 環境マネジメントシステム(EMS)
- ISO(14001)準拠(システム)
- 3R(4R)
- エコアクション21
- ISO簡易システム
- グリーン購入
- 環境保全協定
- 持続可能な社会
- 一般廃棄物
- ISO14001
- 環境経営
- 循環型社会

「エコアクション21 環境活動レポート大賞」にて受賞しました。

九州林産(株)

特定非営利活動法人九州環境カウンセラー協会主催の2011年度エコアクション21環境活動レポート大賞において、九州林産(株)の2010年度環境活動レポートが、九州地方環境事務所長特別賞を受賞しました。受賞理由は、環境負荷の低減活動に加え、事業活動を通じて地域や顧客の環境改善に積極的に取り組むなど「自然環境保全」を主たる事業分野としている当社の幅広い活動が評価されたことによるものです。特に、4,447haに及ぶ九州電力社有林の維持管理によってもたらされる二酸化炭素の吸収固定効果や生物多様性の保全など、当社のユニークな取組みが高い評価を受けました。



光洋電器工業(株)

特定非営利活動法人九州環境カウンセラー協会主催の2011年度エコアクション21環境活動レポート大賞において、光洋電器工業(株)の2010年度環境活動レポートがエネルギー部門賞を受賞しました。エネルギー部門賞は、特に省エネに関する取組みに優れ、その成果が大きいまたは期待できる事業所が受賞します。当社の2010年度の活動で、二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量削減及び水使用量削減に対する取組み・実績が評価されました。また、従業員の自主的な活動として取り組んでいるボランティア活動、ノーマイカーデー活動に関しても高評価をいただきました。



環境会計

「九電グループにおける環境会計基準」に基づき、各社で算定した環境活動コストを集約しています。

単位：百万円

環境活動の分類	主な活動	2010年度		2011年度		2011年度環境活動	
		投資	費用	投資	費用	項目	効果
地球環境保全	地球温暖化防止及びオゾン層保護対策等	3,508.5	1,215.1	1,968.1	1,440.2	温室効果ガス排出抑制量*1	27.0千トン-CO ₂
地域環境保全	大気汚染・水質汚濁・騒音・振動防止対策等	0.0	2,223.6	11.7	1,657.7	SOx排出低減量*2 NOx排出低減量*3	8.3千トン 2.1千トン
資源循環	産業廃棄物・一般廃棄物の適正処理等	21.6	978.1	58.7	1,140.4	法令、条例に基づき適正に管理 産業廃棄物リサイクル量 産業廃棄物適正処分量 古紙リサイクル量 一般廃棄物の適正処理	105.1千トン 7.5千トン 0.7千トン
グリーン調達	グリーン調達で発生した差額コスト	—	17.1	—	14.0	—	—
環境活動の管理	環境教育、EMS運用管理、環境負荷監視・測定、構内緑化等	41.0	284.6	120.5	269.9	環境講演会 集合講演会 出前講演会 外部認証取得会社(ISO14001、EA21) EMSの第2～4段階への取組会社*4 環境関連データベース項目数	48社 58人参加 8社 285人参加 19社 26社 858項目
環境関連研究	廃棄物有効利用等	0.0	0.0	0.0	1.9	—	—
社会活動	地域の環境活動支援等	0.0	3.0	0.0	2.0	「九州ふるさとの森づくり」植樹活動 地域清掃活動	28社延べ746人参加 32社実施
環境損傷対応	公害健康被害補償制度による汚染負荷量賦課金	—	156.5	—	161.2	—	—
合計	—	3,571.1	4,878.0	2,159.0	4,687.4	—	—

※1：新エネルギー等の導入実績において、導入しなかった場合をベースラインとして算出。
 ※2：ばい煙発生施設（ボイラー等）において、脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。
 ※3：ばい煙発生施設（ボイラー等）において、脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。
 ※4：EA21 認証取得会社を除く。

環境教育・環境情報共有化

グループ会社の集合講演会及び各社ごとの環境講演会の実施により、グループ会社社員の環境意識高揚を図っています。

また、インターネットを活用した「九電グループ情報ネットワーク」に環境関連法規制等の情報を掲載し、グループ会社の環境情報共有化を図っています。

環境講演会（2011年度）

項目	内容	受講者数
グループ会社社員講師による集合講演会	「エコアクション21の認証取得への取組み」 九州高圧コンクリート工業(株) 企画部 企画グループ長 梅田 崇氏	48社 58人
	「九州電力社有林のすばらしさ～森林の保全管理及びFSC森林認証について～」 九州林産(株) 総務部付 部長 桑原 辰美氏	
	「平成23年度夏期の節電対策事例と共創館環境配慮技術の概要について」 (株)電気ビル 技術部 技術課長 古賀 登志雄氏 (株)電気ビル 事業開発部 設備課長 香田 和己氏	
九州電力社員による出前講演会	西日本プラント工業(株)	57人
	ニシム電子工業(株)	65人
	九州高圧コンクリート工業(株)	140人
	(株)キューデン・グッドライフ(5社)	23人

用語集を
ご覧ください

- 社有林
- 環境活動コスト
- 大気汚染
- 資源循環
- 汚染負荷量賦課金
- 低硫黄燃料
- 吸収固定
- 地球温暖化
- 水質汚濁
- 産業廃棄物
- 新エネルギー（新エネ）
- 脱硝処理
- 生物多様性
- オゾン層
- SOx（硫黄酸化物）
- グリーン調達
- ばい煙
- FSC（森林管理協会）
- 環境会計
- 温室効果ガス
- NOx（窒素酸化物）
- 公害健康被害補償制度
- 脱硫処理
- 森林（管理）認証